

かわらばん

「日進市わたしのまちのしあわせづくり新聞」第3号

事務局／日進市 福祉部福祉課・社会福祉協議会
TEL (0561) 73-1643(直通) FAX (0561) 72-4554
MAIL : fukushi@city.nisshin.lg.jp
HOME : http://www.city.nisshin.lg.jp/

- 「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAX で募集します。
- どんどんお寄せください。お待ちしております。

にっしん幸せまちづくりプラン(案)が完成しました!

みなさんこんにちは。

地域福祉計画・活動計画を検討する「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」では、これまでに「プロジェクト会議」4回、「わたしのまちのサポーター会議」8回の会議を行い、日進市の地域福祉計画・地域福祉活動計画を検討してきました。議論を重ね、日進市をよりよいまちにするために意見を出しあったことで、ついに委員のみなさんの思いが詰まった計画素案が完成しました。タイトルは委員のみなさんと案を出しあって「にっしん幸せまちづくりプラン」に決まりました!

パブリックコメントを実施しています!

そして、より多くの人に計画を知ってもらい、幅広く意見をいただけるように平成26年12月24日(水)から平成27年1月23日(金)まで、パブリックコメントを実施しています。日進市と日進市社会福祉協議会のホームページ、日進市役所1階福祉課、1階情報公開窓口、中央福祉センター、障害者福祉センター、図書館、各福祉会館にて閲覧できます。また、福祉課、中央福祉センター、障害者福祉センターでは点字版の閲覧ができます。いただいた意見は計画に反映し、より多くの人の思いが詰まった計画にしていきます。

「平成26年度にっしん地域福祉フォーラム」を開催します!

平成19年から開催されている「地域福祉フォーラム」。第8回目となる26年度は「にっしん幸せまちづくりプラン」が完成する3月に開催し、計画の完成発表会を行います。日程は平成27年3月21日(土)、場所は日進市市民会館小ホールです。

<わたしのまちのしあわせづくり委員会>

第2回

2014. 10. 2



第2回は4月から現在までのプロジェクト会議・サポーター会議における検討の状況について事務局より説明をした後に、現時点での計画素案について委員のみなさんと意見交換を行いました。計画の中の詳細な表現や図表の記載、行政・社会福祉協議会が担う役割や市民との関係、市民参加について、計画書に書かれている具体的な内容や支援の方法などの意見ができました。詳細な部分から全体までさまざまな視点で計画書を精査しました。

第3回

2014. 11. 6



第3回は、第2回わたしのまちのしあわせづくり委員会から現時点までのプロジェクト会議・サポーター会議における検討の状況や計画素案について事務局より説明をした後に、委員のみなさんと意見交換を行いました。パブリックコメントに出す計画案の最終確認段階でもあり、計画ができた後、どうやって実施・管理していくのか、計画書をどうやって市民の方に広く知ってもらうか、計画書の配布の仕方などといった計画書をつくった後のことも話されました。

<プロジェクト会議>

第4回

2014. 10. 24



第4回は「計画の素案を作成しました。みなさんで確認をお願いします!」と題して、最後のプロジェクト会議を開催。

まずは前回の振り返りや事務局による計画素案の説明の後、「全体意見交換」を行いました。さまざまな検討を経て作成された計画案を再度確認し、行政・各課の視点から意見の交換を行いました。

全体意見交換



この計画の大きなポイントとして、2つの計画を一体的に考えるということ、小学校区をひとつの範囲でイメージしようということです。



この計画は市民にとってテキスト、教科書になっていく。これを開けばやってみよう、もしくはヒントをもらえるものになる。そのため手にとって読んでもらえるように、最後には魂を詰め込んでいく作業が必要だと思います。



家庭や職場だけではなく徒歩で歩ける圏域のなかに自分たちの居場所、集える場所を設けたいという意志を示した計画になっていると思います。



◎主な意見

最終的には各地域で進捗管理できると良い。
／市民主体の会議や検討の仕方がポイント。
／第1次からの新規・継続性の確認はできているのか?／行政内で「誰(どこの課・係)」がするのか整理できているのか?／進捗管理でも行政の進捗管理と市民・事業者の進捗管理がある。／優先順位・時系列。10年のうち、いつまでに何をやるのか明確にする。など。

＜わたしのまちのサポーター会議＞

第6回

2014. 9. 20



第6回は「多くの人と協働を進めるために市・市民・事業者の役割分担を考えて、さらに具体的に検討しよう」と題して開催。

「A. 地域福祉の活動の輪をひろげます」「B. 地域福祉の活動をささえます」「C. 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます」の3つのテーマに分かれて、第5回で話し合った、「望まれる活動」や「活動のために必要な「ト」についてさらに具体的に「市民」「行政」「社会福祉協議会」「福祉事業者」の役割分担を話し合いました。この回は谷口先生に来ていただきアドバイスをいただきました。

グループワーク=どんな活動が望まれるかな?そして活動のために必要なコトは?

◎地域福祉を推進する、コーディネーターを配置する

市民	各組織で自分ができることを明らかにしておく。各組織内で自助、共助を行う。
行政	19ある行政区のレベルをそろえる。予算をつける。職員は専門性を活かす。
福祉事業者	専門職としての答えを出すことができる。専門でなければ誰かに橋渡しをする。
社会福祉協議会	改善事例等を提示する。相談に乗ってほしい。など。



Aグループ

◎不登校・ひきこもりをささえる

市民	不登校やひきこもりについて関心を持ち、知り、正しく理解する。
行政	現状把握。相談窓口の設置。支援体制をつくる。
福祉事業者	親の会や当事者が集まる場の設置、運営。サポートセンター等の設置。
社会福祉協議会	不登校やひきこもりの人へのアプローチ。情報発信。交流会、講座の場所提供。など。



Bグループ

◎地域たすけあい会議(誰もが参加しやすくなる)

市民	自治会が目標をもち、住民に知らせていく。問題解決に向けて適任な人を育てる。
行政	お金、場所の支援。説明会の中で各区、自治会に広報。
福祉事業者	やりたい!という気持ちを持つ。客観的な視点を持つ。
社会福祉協議会	具体的にスケジュールを決めて行っていく。人材育成。など。



Cグループ

グループワーク=計画素案をチェック!

◎計画素案についての意見

まちづくり協議会にはキーマンがいる。育てないといけない。継続性が必要。ノポジションを具体化して分かりやすく。など。



活動したい人はたくさんいる。やりたい人が着手しやすいように、分かりやすく。ノ目標達成は過程が大切。達成したら終わりではなく、継続していく。など。



Aグループ

◎計画素案についての意見

社協負担が大きいか?実現可能?計画内容に期限をつけて具体性を。実現が可能なことを書いてほしい。など。



計画を実行していくにあたって、問題を抱えている人を援助するためにできることから始めてほしい。ノ各ステップに実施期限(目標)を入れる。など。



Bグループ

◎計画素案についての意見

つどい場をつくっていくのに「待ちの姿勢」が強すぎるのでは?自治会など既存団体の協力を得られるようにしなければ。など。



行政の活動計画に対する関わり(役割)が非常に少なくなっている。ノ人材バンクを上手に活用してほしい。など。



Cグループ

第8回

2014. 11. 29



当初は全7回のサポーター会議でしたが、第8回目を「修正された計画素案を再度、確認。」と題して開催。

まずは前回の振り返りや事務局による修正された計画素案の説明後、2つのグループに分かれて修正された計画素案を確認しました。7回目の「サポーター会議」や「プロジェクト会議」、「わたしのまちのしあわせづくり委員会」での検討を経て修正された計画素案に、みなさんの熱い思いがきちんと反映できているかチェックをしました。

グループワーク=修正計画素案をチェック!

◎計画素案についての意見

当面何をやるのか、優先順位をつけた方がよいのでは?ノ各区长は把握しているのか?ノ実現に向かってチェック機能をきちんとしないといけない。ノ誰がいつ行うかまで具体的に。ノ何かしたいという市民に参加しやすい、参加できる雰囲気・システムづくりをお願いしたい。など。



Aグループ

◎計画素案についての意見

目標値は5年後だけでなく、毎年どこまで進んでいるか管理した方がよい。ノ社会状況などにあわせ、その目標値でよいかどうか確認しつつ進められるとよい。ノCSWについては、人選が大きな影響力を持つので、誰がなるのか、誰が決めるのかが重要である。情報をにぎり、つなげ、困っている人をひっぱることが出来るような人が適任。など。



Bグループ